

## ■調査の目的

離乳食用の食器、また幼児用食器の多くが樹脂製のものが多いのが一般的です。その一方、木製品の素材としての良さやその特性への理解が広まる中、離乳食や幼児食に使われる木製食器の市場における受容やニーズを調査し、今後の製品開発へと反映することを目的としています。

## ■回答者のプロフィール

性別 男：0人 女：50人  
年齢 参加者 お子さま

## ■アンケート回収結果

SNS 募集結果 229人  
モニター実施数 50人  
回答数 44人（有効回答率 88.0%）

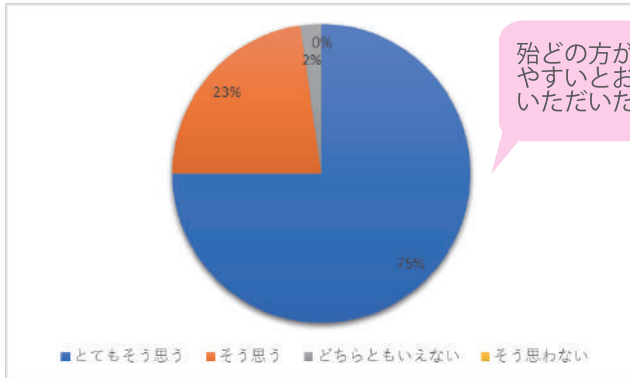
## ■調査方法

調査区域 全国  
調査対象者 0歳～4歳までのお子さまとご家族  
モニター数 50名  
実施方法 SNS配信による募集／アンケート  
詳細 木製スプーン＋木製食器を使用，アンケートにお答えいただいた  
調査期間 2021年2月1日～2月28日

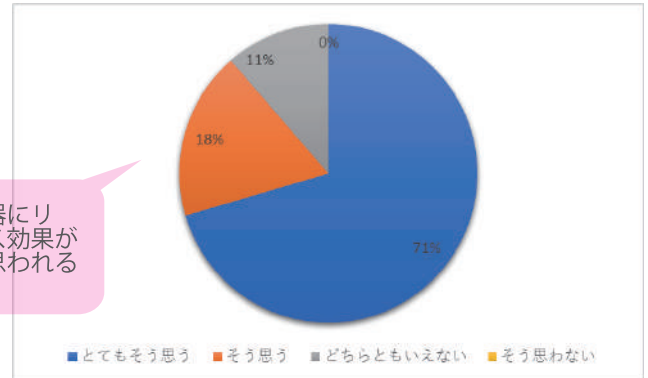
## ■調査結果

アンケートによる結果を取りまとめました。その結果の一部を以下の通りご案内いたします。アンケートの結果より、木製食器への受容は明らかに高まっており、使い勝手や実用面も理解されてきていることがわかりました。また、ご使用いただいた保護者様にとっても使い勝手が良いだけでなく、お子様にとっても楽しい食事の演出ができています事例が数多く見られたと思われます。

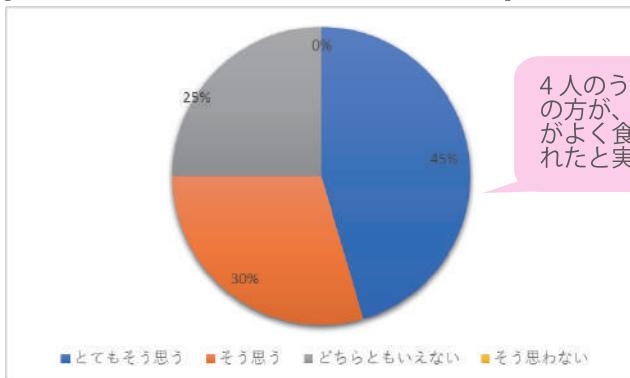
### 【お子様に食べさせやすかった】



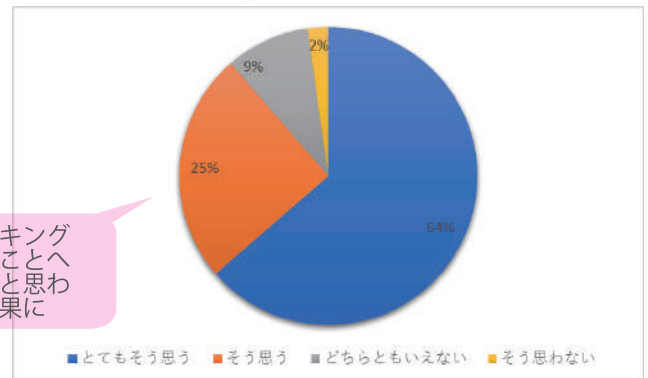
### 【お子様にリラックスして食事をあげることができた】



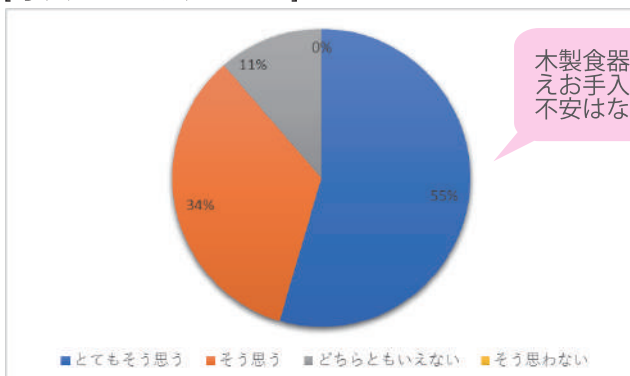
### 【お子様がよく食べてくれるようになった】



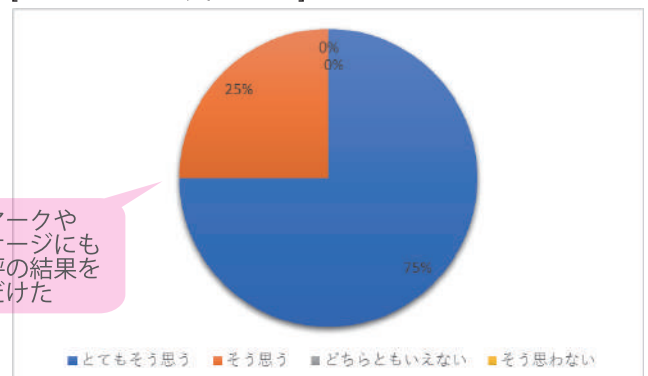
### 【収納しやすかった】



### 【手入れがしやすかった】



### 【パッケージが良かった】



初めてのお食事から大きくなってもしっかり使える

木製食器セット

# GRANDeK

【グランデック】

## 2022年2月実施 モニター調査結果のご案内

### 使用した感想は・・・？

### アンケートで全員の回答が一致



継続して使い続けたい・・・100%



おすすめしたい・・・100%



他のアイテムも欲しい・・・100%

#### ■モニター参加者からのお声

スプーン拒否でずっと悩んでいましたが、こちらのフーディングスプーンを使うと、自分から口を開けて食べてくれました。家族で魔法のスプーンだと喜んでます。シンプルで使いやすいデザインで、上の娘や私たち用にも購入したいです。家族で永く愛用できればと思います。

30歳・7ヶ月

非常に使いやすく、毎日完食してくれています。スプーンはスープや麦茶など液体もすくいやしく口からこぼすことが少なく感じ、初期の離乳食にとってもあった商品だとおもいます。おかげで、息子も私もストレスなく離乳食が開始でき、毎日ニコニコで食事が楽しくなりました。

38歳・3ヶ月

触り心地やお皿やスプーンの持ちやすさを実感しました。木のぬくもりの良さについても改めて感じさせられ、こどもたちと大切に使い続けられたらと思っています。

30歳・1歳1ヶ月

とても使いやすいし、木の独特な匂いが食事につかないか少し心配していましたが、全くそんなことなく、美味しくお食事してくれました。洗浄後の水切れも良く、ご飯のこびりつきもしっかり取れました。角は丸く、一般の商品と違い、棘の心配もないです。ほんとに素晴らしい商品です！

22歳・8ヶ月

使っていてとても心地が良いです。スプーンが思いのほか使いやすく木だから滑りやすいのかなという先入観がありましたがむしろその逆に驚きました。今まで使っていたプラスpoonに比べてとても上手にすくって食べることができて感動しました。スプーンとプレート当たる時に心地良い音にも癒され、他のものも揃えたいなりました。出会えて良かったです。これからもずっと大切に使って味がでるまで楽しみたいと思います！

36歳・1歳

子どもは持ちやすく、短いので自分で口に運びやすい。口のサイズも大きすぎず、小さすぎず。息子が自分でやりたい！と怒るようになり、離しません。息子が自分で食べる意欲が湧いて嬉しいです。

32歳・3歳5ヶ月と11ヶ月

#### ■アンケート調査結果より・・・

木製食器への受容は明らかに高まっており、使い勝手や実用面も理解されてきていると言える。保護者にとっても使い勝手が良く、お子様にとっても楽しい食事の演出ができている事例が数多く見られた。

モニターのコメントなどにある評価と、アンケートの回答内容が十分一致することからも、ある程度木製食器が使う人にとっての心地よさや、食べやすさを助長していることが裏付けされた。同時に評価されているポイントが木製という素材の特性のみならず、その形状やデザイン、製品の仕上げなどにもあるということがわかった。つまり、木製という素材による訴求効果だけではなく、その品質や形状、デザインなども、使用者へ与えるとても大切な要因であった。

一方、電子レンジなど一部の家電製品に使えないところが難点として残された。



※モニター応募時の月齢を記載しています。

ALL COPY RIGHT RESERVED BY TOUGEI